

# 泰仙寺便り

第15号

平成30年3月

発行 筑紫野市諸田348番

092-927-1691

真宗大谷派 泰仙寺



## 白菜、ネギ、聖護院大根、かぶ、ほうれん草 豊かな自然の恵みいただきました！

みやま市瀬高町の石橋千年さんのお宅にお参りに行きました。  
いつもご夫婦二人仲良く一緒にお参りしてくださいませ。  
92歳の千年さんはとてもお元気で、今でも自転車でスーパーに買い物に行かれます。  
奥さんのスミ子さんはお料理上手で、お魚を煮たあとの煮汁で聖護院大根を炊くと美味しいと言っておられました。千年さんが大事に育てたお野菜をいただきました。  
白菜は見事にぎっしり巻いていました！ なんまんたぶ。

## (少し早いのですが) 春のお彼岸法要のご案内

日時 平成30年3月11日(日) 午後2時より 筑紫野市諸田 筑紫野泰仙寺にて

講師 三養基郡みやき町 塚本慈顕先生 (節談説教)

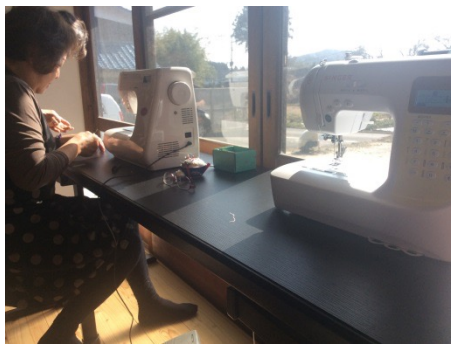
塚本先生のお話しは有難く、いつも泣かされます。一緒に笑って泣きましょう！

# 瀬高の本院にて報恩講が無事に勤まりました

泰仙寺はもともと禅宗のお寺でしたが、江戸時代に浄土真宗に改宗して私で十代目の住職となります。東本願寺の末寺として毎年勤まる報恩講を住職として無事お勤めしました。ありがとうございました。今年のお斎は「精進カレー」前日から仕込んだ自慢のカレーでしたが、バタバタしてカレーの写真を撮り損ねました・・・残念。



寒さもなんのその、手芸教室熱いです！次回3月27日開催



ミシンが使えなくても、針穴に糸が通らなくても、裏表まちがえて縫いつけても、そんな事気にせず我が道を笑って突き進んでます(笑) 興味ある方、お気軽にお問合せください。

## あわれ生き物は互いに食べ合う

筑紫野のお寺の裏の竹林、寒い冬をじっと耐え、春になれば顔を出すのがタケノコ、そのタケノコをいただく楽しみにしているのが私・・・お釈迦様が子供の頃、農夫が田を掘り起こすと土から虫が出てきた。すかさず小鳥がやってきてその虫を食べた。するとその小鳥をもっと大きな鳥が捕まえて飛んで行ってしまった。これをごらんになったお釈迦様「あわれ、生き物は互いに食（は）み合う」とつぶやかれたという。まさに今の私の姿です。



## 今月の言葉

食べなければ死ぬ 食うても死ぬ

人は食うためののみ

生まれてきたのではない

(私はなんのために生まれてきたのでしょうか?)